



仙台塩釜港復興だより 第11号 — 港湾は人の心も結んでいます —

コスタ・ビクトリア号が仙台港に寄港しました！

5月19日（日），仙台塩釜港に全長252.9m・総トン数75,166トンの外航大型客船「コスタ・ビクトリア号」が初めて寄港しました。

当日は乗客約2,000人を乗せ、仙台港区の中野1号ふ頭に接岸しました。岸壁では宮城県観光PRキャラクターの「むすび丸」の出迎えや、仙台市消防音楽隊、仙台のフラダンスチームによる歓迎イベントが行われました。また、宮城の名産品や南三陸町や気仙沼市など被災地のご当地グルメを販売するブースも設けられ、乗客らで賑わいました。

豪華客船の寄港は観光面でのPRになるほか、港の復興を全国にアナウンスするという役割も期待されています。今回の寄港では青葉まつりが開催されていた仙台市をはじめ、松島町や岩手県平泉町などの観光地などを訪れ東北の復興の様子を直に感じ取っていただけたと思います。

船内では仙台港寄港の記念式典が行われ、宮城県土木部港湾課長による歓迎挨拶の他、コスタ・ビクトリア号クルーへの花束贈呈など今回の寄港への感謝の意を伝えました。



○大型客船コスタ・ビクトリア号着岸



○ご当地グルメで賑わう仙台港



外航定期コンテナ航路（韓国航路）の中国延伸について

震災以降、国際定期コンテナ航路が再開されております。今回は、昨年の3月31日に韓国航路として再開されておりました定期航路が中国まで延伸されました。運航船社は興亜海運（株）、高麗海運(株)であり、両社の共同運航で週一回仙台港へコンテナ船が入港します。中国延伸後の第1船は「LANTAU BEE」で6月18日に高砂1号岸壁に着岸し、コンテナを397個陸揚げし356個を積込みました。



○高砂コンテナヤードに着岸する LANTAU BEE

また、今回の延伸を記念しまして歓迎セレモニーが執り行われました。運航船社からは「今後の震災復興の後押しとなるよう、宮城に根付いてがんばりたい」とのありがたい言葉をいただきました。



今回の延伸によりコンテナの取扱量が増えることはもとより、仙台港を利用する荷主や関係企業の物流コストの削減、国際競争力の強化が期待されます。

仙台港で一斉清掃が行われました！

7/17（水）、仙台港区内におきまして一斉清掃を実施しました。当日は港湾利用者を始め、工事業者、周辺企業などから65社、約280名の方々に参加していただきました。



○たくさんの方々に参加して頂きました！

清掃を行うのに最適な曇り空の下、臨港道路や岸壁周辺を中心に活動を行いました。午前中いっぱい活動ではありましたが、大量のゴミを回収することができました。

今後ともきれいな港を維持できるよう、みなさまご協力のほどよろしくお願いします。



向洋海浜公園が全面復旧しました！

東日本大震災によって被災したため、立ち入りを禁止していた向洋海浜公園の駐車場、公衆トイレ及びスロープ等について、復旧工事が完了いたしました。なお、砂浜に降りる階段には新たに手すりを設置し、より安全に昇降できるようにしました。

公園から眺める晴れた日の雄大な太平洋のパノラマは、圧巻です！また、サーフィンの適地としても知名度が高く、早速、地元のサーフィン大会が開催されました。晴れた日の雄大な景色と心地よい浜風を感じながらお弁当を・・・その味、格別です！

是非、足を運んでみては、いかがでしょうか？（くれぐれも熱中症には、気をつけてくださいね。）

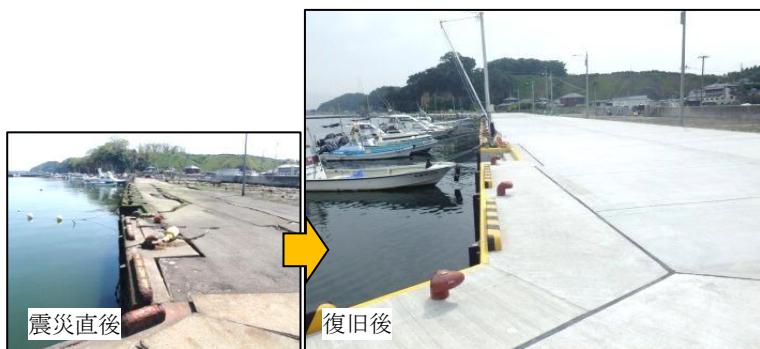


○海浜公園からの景色



○駐車場もきれいに復旧しました！

塩釜港区の災害復旧工事が完成しました！



○東宮浜物揚場



○貞山ふ頭2号岸壁

仙台塩釜港（塩釜港区）においては、震災に伴う復旧工事を進めておりますが、塩釜港区の復旧工事第1号として、貞山ふ頭2号岸壁及び東宮浜物揚場の各施設が完成しました。

貞山ふ頭2号岸壁及び東宮浜物揚場の各施設は、震災に伴い約70cm施設が沈下し、エプロン等に大きな被災を受けました。このたび、各施設とも平成25年6月をもって工事が完了し供用を開始しました。

一日でも早い復旧・復興に向け、今後も事務所一丸となって復旧事業に取り組んでいきます。

小学生に仙台港をご案内！

仙台市立七郷小学校3年生146名が総合学習の一環として、仙台港について学習しました。

まず、6月18日に事務所職員が七郷小学校を訪問し、オリエンテーションを実施。前半は港の役割について、入港する船や港にある荷役機械、コンテナの種類等を紹介し、後半は震災当時や現在の写真を交え、港の震災による影響と復旧について紹介し、港のイメージを持ってもらいました。

そして6月25日に、フェリーターミナルと高砂コンテナターミナルをそれぞれ見学。フェリー入港の様子や、コンテナの運搬・積み込みなど、普段は見ることのできない様子を、興奮しながら見学してくれました。また、移動の車内から仙台港の様子を間近に見ていただきました。当日は新幹線が仙台港に陸揚げされており、岸壁上にある珍しい状況も見ることができました。見学時間は1時間半程度と短い時間でしたが、子どもたちにとっては貴重な経験になったようでした。

当日、七郷小学校の子どもたちからオリエンテーション時の説明に対するお礼のお手紙をいただきました。みんな、それぞれに港に興味を持ってくれたようでよかったです。我々も子どもたちとふれあい、たくさんの笑顔(^o^)と元気(^^)をいただきました。

七郷小学校のみなさん、ありがとうございました。

編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 編集委員

〒983-0001

仙台市宮城野区港三丁目1-3 アクセル5階

TEL 022-254-3132

FAX 022-254-3136

E-mail: sdsgkowns@pref.miyagi.jp



○七郷小学校の生徒さん、お勉強中！



○一生懸命メモをとっています。



○大迫力のコンテナ荷役作業！！